



12/5 防災教育(災害時を想定した体験等)

防災に関する意識を高めることを目的として、災害時を想定した具体的な体験をしました。

1-1薄井さん:今日は災害時の対応法がよく分かりました。火事の際に使う消火器の使い方や避難所で使う簡易トイレや簡易担架の使い方が知れてよかったです。今日学んだことを生かして、いつ、どこで、どんな災害が起きても正しく対応できるように準備したり、知識を身に付けておきたいです。

1-2立原さん:水消火器体験では、人生で初めてやるので少し緊張しましたが、簡単にできて「これなら僕たちのような子供でもできるな」と思いました。一番良いのは火事が起こらないということですが、もしも起きてしまったら手伝おうと思いました。防災講習会では簡易担架の作り方を教えてもらいました。とても簡単で丈夫だったので、しっかり覚えておこうと思いました。貴重な体験ができて良かったです。

1-3斉藤さん:防災訓練を振り返って改めて災害のときどうしたらいいか理解しました。なかなか食べられないアルファ米は意外においしくて全て食べられました。防災グッズもいっぱいありすごかったです。僕はトイレ体験をしました。段ボールなのに堅くてがんじょうで「これなら安心してトイレができる」と思いました。消防団の人たちに感謝です。

1-4天賀谷さん:小学校でも防災訓練はしましたが、小学校と比べ、かなりレベルが上がったと感じました。今日、この防災訓練と防災体験を通して災害の危険さ、恐ろしさを感じ、自分の命も大切だけれど、他の人、または家族の命を守ることが大切なんだということを感じました。そして、災害が起きてからは遅いのだということに改めて思い、日頃から災害が起きた時のために準備して、この経験を生かしたいと思います。

2-1佐藤(瑞)さん:防災訓練の有り難さを感じました。今日はアルファ米という水だけでできる米を実際にやってみました。誰でも簡単に作ることができてびっくりしました。おいしかったです。防災バックも見せてくれました。自分も防災バック等を備えようと思いました。30年以内に大きな地震が70~80%の確率で起こることが分かったので、今日学んだことを生かし、安全に、そして、命を守る行動ができるようにしたいです。

2-2小河さん:自分は「万が一に備えておこう」と思い、いつも遊びに行ったり、お出かけしたりする時はバックを持ち歩いています。家での備蓄品は備えていなかった。「家でも万が一の時に備えておこう」と思うことができました。防災リュックなども準備しておこうと思いました。

2-3大山さん:アルファ米を食べました。水かお湯を入れるだけでお米が食べられるのはすごいと思えました。賞味期限があと3年くらいもつので、どういつくりをしているのか調べてみようと思いました。災害発生時にどのようなことをすればよいか、どのような物を持っていけばよいか分かった。

2-4米山さん:災害に強いまちづくりは、学校や保育園など子供は大人に比べて逃げ足が遅い理由から高台に置くことにするなど、ちゃんと理由があることが分かった。アルファ米はふつうにおいしかったです。水でできるのがすごいと思えました。話を聞いて災害への意識を高めたいと思いました。いつ、どこで、どんなふうにかかるかわからない自然災害に対して向き合っていかなければならないと思いました。

3-1福田さん:僕は今回の防災訓練を振り返って安全なまちをつくることは簡単ではないことや心臓マッサージの仕方が分かってよかったです。自分の選択で命を救う時もあれば失うこともあることを知りました。また、災害についてどのようなことが起こるかが分かりました。僕は今日学んだことを活用したいと思いました。

3-2大澤さん:防災訓練でAEDの使い方や防災まちづくりについて学びました。AEDは誰でも簡単に使うことができ、もし目の前に倒れた人がいたら、焦らずに対応することが大切だと知ることができました。防災まちづくりでは、どこが危険なのか、どこが安全なのかを知ることができました。とてもよい知識になったと思います。今回の防災訓練で学んだことをしっかり覚えておき、被害者が一人でも多く出ないように願います。

3-3平山さん:今回の防災訓練でいろんなことを改めて学びました。AEDの使い方や胸骨圧迫の体験、人が倒れていた時の対応についてよく分かりました。胸骨圧迫は結構力が必要でとても疲れました。本当に人が倒れていた時すぐに対応できるか不安だけど、今日学んだことを忘れないようにしたいです。とても貴重なことを学べるとてもよい機会になったと思います。

3-4唐木さん:安全でよいまちをつくることを通してどんな場所に災害が多いかなどを確認することができました。また、AEDの講習では使い方や心肺蘇生の方法を学ぶことができました。

